

平成 30 年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
情 報	社会と情報	2	1-1~1-A

1. 学習の到達目標

- ・情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
- ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。
- ・効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 情報社会と私たち 1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール ※Windows の基本操作及び Word の実習を行う。	◇情報や知識についての意味を理解する。 ◇情報の信憑性や信頼性について理解する。 ◇個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ◇知的財産権・産業財産権について理解する。 ◇自己の責任を自覚し、他社の権利を尊重する態度を身に着ける。 ◇パソコンの基本操作を実習する。 ◇Word の基本操作を実習する。
2 学 期	第2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル 2. デジタル表現 第3章 表現と伝達 1. 表現の工夫 ※Excel の実習を行う。	◇アナログとデジタルの意味について理解する。 ◇デジタル化のメリットについて理解する。 ◇情報を2進数で表現することについて理解する。 ◇数量の概念と単位について理解する。 ◇情報伝達する際の留意点について学ぶ。 ◇Excel の基本操作を実習する。
3 学 期	第4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション 2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ ※PowerPoint の実習を行う。	◇出会い系サイト規制法など、情報社会に係わる大切な法律について理解し、自己の責任を自覚し、他者の権利を尊重する態度を身に付ける。 ◇コンピュータウイルスの種類や被害の状況、及びその対策について理解する。 ◇インターネット上の情報を利用する際のリスクについて理解する。 ◇PowerPoint の基本操作を実習する。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による。
------	----------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	最新社会と情報 新訂版 (実教出版)
副教材	最新社会と情報《新訂版》学習ノート(実教出版) ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシーOffice2013 対応(実教出版)